

新基地建設反対名護共同センターニュース

知事選と共産党候補全員勝利でデニー県政の発展を！



写真上は、那覇市新都心で前列左から小池書記局長、池田副知事、山川豊見城市長、伊波参院議員、赤嶺衆院議員。写真右は、宜野湾市長予定候補の仲西春雅氏（沖縄市で）。

小池書記局長が県内3か所で熱く訴え

日本共産党沖縄県委員会は小池書記局長を迎え7日、県内3か所で地方議員選予定候補や市長選予定候補などと街頭演説を行いました。名護市90人、沖縄市200人、那覇市650人が集まり、議員候補者の力強い決意表明もあり大きく盛り上がりしました。

デニー知事と宜野湾市長選で仲西氏勝利を

小池書記局長は知事選の争点とデニー県政の素晴らしい実績を紹介。相手予定候補の佐喜真氏、下地氏を鋭く批判し、日本共産党議員の必要性を強調しました。沖縄市で仲西春雅宜野湾市長予定候補、那覇市で伊波洋一参院議員、デニー知事の代理・池田竹州副知事、山川仁豊見城市長が挨拶しました。演説会は、日本共産党沖縄県委員会から入るユーチューブで視聴できます。

知事選勝利で「新基地建設中止」の民意再び



パネルを掲げアピールする額賀さん（左から2人目）ら。マイクで訴えているのは稲嶺進元名護市長（後方の右端）

名護市内でブルーアクション

島ぐるみ会議名護が6日、名護市内でブルーアクションに取り組み、約15人でスタンディングを展開しました。稲嶺進元名護市長や野党市議、市民がリレースピーチしました。稲嶺氏は「新基地建設は沖縄県の試算では2兆5500億円もかかる。しかし、大浦湾には軟弱地盤があり完成の見通しもない。知事選で玉城デニー知事を再選させ、何度でも中止の民意をつけよう」と訴えました。

吉居名護市議が事務所開き

日本共産党の吉居俊平名護市議（写真）が8日、市議選での再選をめざし事務所開きを行いました。赤嶺政権賢衆院議員、渡久地修県議、具志堅徹元県議などが激励の挨拶をしました。吉居氏は「辺野古新基地反対とともに市民のくらしと子育て支援、若物への支援活動などを行うと決意を表明しました。」



事務所/名護市
宮里 452-1-102
☎080-7307-6453

「デニー知事の再選で新基地建設中止を」へり基地反対協

毎週火曜日の宣伝行動に反応

へり基地反対協の海上行動チームが毎週火曜日に名護市十字路でスタンディングを続けています。8月2日も10人が名護市十字路で行い、仲本興真事務局長などが「デニー知事を再選させ、辺野古新基地建設工事を中止させよう！」と訴えました。買い物途中の女性が足を止め、ドライバーが手を振るなど激励していました。

「国葬よりも国民の命」と障がい者

辺野古出身の上間正敏さん（60歳）は、脳性まひによる障害があり車椅子で参加しました。上間さんは「辺野古では『いのちを守る会』の立ち上げにも参加した。自然を守りたい一心だった。今、ウクライナのニュースが連日報道され心を痛めています。台湾海峡で紛争が起きたら沖縄は再び戦場になる。安倍元首相の国葬に何億円も税金を使うならコロナ対策など国民の命とくらしを守るために使うべきだ。絶対反対です」と話していました。

左の写真は、通行人に手を振る上間さん。下の写真は、思い思いのパネルを掲げる反対協の人々

